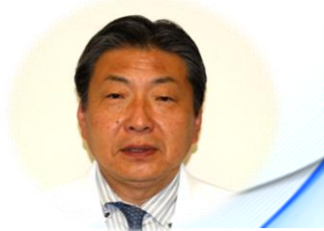




晩冬の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今月の診療科別予定表を同封いたしますのでご参照ください。
今後とも、患者さまのご紹介をよろしくお願いいたします。



1. 整形外科センターよりご挨拶



整形外科 センター長

かねだ たかよし

金田 隆義

整形外科センター(整形外科)長を拝命しております金田 隆義でございます。
平素より地域の先生方には大変お世話になりこの場を借りて御礼申し上げます。長い間、
阪南市民病院 整形外科は常勤医師不在の為、大変ご迷惑お掛けしておりましたが、2019年
4月1日より近畿大学整形外科関連施設として新たなスタートを切りました。不慣れな点が
多々あり、まだまだ未熟な状況ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

現在、常勤医師(日本整形外科学会認定専門医)として、私と共に葭井 健男部長並びに西村
章朗医長の3名と非常勤医師3名にて日々の診療に従事しております。外来診療はあえて専門
を標榜せず、ご紹介を頂いた場合も幅広く可能な限り対応させて頂いております。

治療におきましては、整形外科ガイドラインに準じ保存的治療は勿論の事、手術が必要な
場合は患者さまの同意の元、最新最良の術式を選択して早期離床早期復帰を目指しております。

お陰様で、外来・入院共に順調に推移しており、手術例数も月平均20例以上で年間250例
にも及ぶ状況です。中でも人工関節手術(股関節、膝関節)に関しましては、いち早くナビゲー
ションシステムを導入し、手術精度の向上や時間の短縮を計り、合併症の回避にも努めており
ます。(ナビゲーションシステムに関しては後述)

現在、コロナ禍で諸先生方も先行き不透明な中大変な状況ではありますが、引き続き宜しく
お願い申し上げます。



2. ナビゲーションシステムのご案内

当院では、2019年11月より整形外科手術（人工股関節置換術・人工膝関節置換術）にナビゲーションシステムを導入しました。ナビゲーションシステムとは、コンピューター支援手術の一つです。

ナビゲーションシステムは、自動車についているカーナビと同じです。カーナビは、人工衛星からの情報をもとに、現在地から目的地までの道順や距離を測って運転手に指示を出します。人工関節置換術のナビゲーションシステムでは、赤外線を使用して、手術の器具が現在どの位置にあるか、計画通りに手術をするためにはどの方向へどれくらい移動すれば良いかななどをコンピューターが計測します。

手術前計画にて、CTなどの検査で得られた患者さんの骨格の情報を、ナビゲーションシステムに入力し、人工関節を設置する位置やサイズなどを決定します。

手術中は、ナビゲーション機能を使用して治療する部位と手術器具の位置関係を正確に計測し、リアルタイムにコンピューター画面に表示します。医師は、モニターに映し出される骨を削る角度や深さを確認しながら手術を行います。そのため、術前計画通り正確に手術を行うことが可能になります。これにより、人工股関節の合併症である脱臼のリスクを減らすことができ、従来の人工股関節で禁止されていた動作（正座、しゃがみ込みなど）も可能となります。また、至適位置、至適角度で人工関節のインプラントを設置することにより長期耐用性も期待できます。

股関節や膝関節の痛みで悩まれている患者さまがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介の程宜しく願いいたします。



ナビゲーションシステムで
手術中！！



にしむら あきお
整形外科 医長 西村 章朗



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室
(直通) TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります

